

5975

東プレ

Topre

代表取締役常務 松岡 邦和 氏



～未来を変えるモノづくり～

会社概要と製品紹介

● 沿革

- ・1935年に東京プレス工業(株)を設立。
1985年に東プレ株式会社に商号変更。
- ・1990年代に大口納入先・日産自動車が部材の調達先を絞り込むとの戦略に転じる。以来、調達先として共に成長するため、九州、アメリカなど海外で生産能力増強・業績を拡大。

● プレス関連製品、定温物流、空調、電子機器

- ・高張力鋼板(ハイテン材)は世界最強クラスの品質を誇り、これらを用いた自動車用プレス製品は当社売上の67.1%を占めます。
- ・国内で初めて、冷凍装置とコンテナの一貫生産を実現。定温物流(冷凍車)関連事業の売上構成比は27.7%。
- ・空調機器と、静電容量技術を用いた電子機器事業も展開。

将来への取り組み

● プレス関連事業

- ・(株)丸順の株式19.99%を取得、持ち分法適用関連会社。この資本提携により生産、技術、購買、等の分野で相乗効果を見込みます。
- ・東プレ九州、東プレ東海において、生産能力の拡張を進めています。
- ・東プレアメリカでも生産能力の拡大投資を行っています。インドで工場設立を決定。

● 定温物流関連事業

- ・広島、栃木で生産能力を引き上げました。
- ・新型航空保冷コンテナの研究開発に着手。
- ・大手コンビニ配送車に当社製EV配送車が導入。

● 電子機器事業のキーボードをリニューアル

- 好評の当社製キーボード「REALFORCE」のデザインを16年ぶりに刷新。

現状と業績

● 事業環境

- ・国内自動車:国内は量産部品の生産拡大や海外向け新車種の立ち上がりが好調です。
- ・海外自動車:タイでの新車種の立ち上がりが非常に好調。世界経済全体としては緩やかに持ち直しているものの、金融資本市場変動の影響などの不安材料があります。
- ・冷凍車:トラック市場全体が引き続き好調。温度管理の厳密化により、より高品質な製品への代替需要が見られます。

● 2018年3月期業績見通し

- ・プレス関連と定温物流の売上が全体を牽引、売上は前期比13%増の1850億円、営業利益は8%増の220億円を予想。
- ・今期業績予想前提為替レートは1ドル当たり108円。

中期経営計画と株主還元

● 中期経営ビジョン

- ・お客様目線を持ち、技術革新やお客様の競争力をつける提案を出し続けます。
- ・新拠点進出に備え、工場運営の標準化、パッケージ化を確立します。
- ・社員の成長を促進し、経営幹部を見据えた人材育成を行います。
- ・業界No.1の品質を追求します。

● 中期経営計画

- ・2019年3月期に売上1,900億円と営業利益220億円、2020年3月期に同2,000億円と240億円、ROE11%以上、ROA6.5%以上を計画。約1年前倒しで順調に進捗。

● 自己資本比率61.4%、株主還元

- ・安定、継続的な配当が基本方針。
- ・2018年3月期は前期から10円増配し、年間56円の予定。
- ・保有期間と株数に応じ、クオカードを配布。